

図書館だより

2025年9月号 vol.5



【今月のテーマ】秋の夜長にしたいこと

デジタルデバイスで人間の生活は便利になったはずですが、
情報や広告の波に疲労していませんか？
デジタルデトックスを兼ねて、秋の夜長に読書はいかがでしょう。



～読みたい本を探す本～

『あなたの代わりに読みましたー政治から文学まで、意識高めの150冊ー』

斎藤美奈子／著 朝日新聞出版【東】

新聞の書評委員なども務めた文芸評論家・斎藤氏が読んできた150冊。ジャンルを問わずに選ばれているので、紹介を楽しむことも、ブックガイドとして使うこともできます。

『読書大全ー世界のビジネスリーダーが読んでいる』

経済・哲学・歴史・科学200冊ー』堀内勉／著 日経BP【東】

取り上げた書籍の全リストのほか、＜人類の歴史に残る300冊＞を年表と共に掲載。

『まなの本棚』芦田愛菜／著 小学館【西】

『読んで旅する海外文学ー24の国と地域の旅行記×77冊の読書ノートー』

重松理恵／著 大月書店【西】

『新書100冊ー視野を広げる読書ー』高橋昌一郎／著 光文社【東】

『物語の海を泳いで』角田光代／著 小学館【西】

～暦を知る、秋を味わう～

『暮らしをもっと豊かにする七十二候の楽しみ』小泉さよ／絵 世界文化社【東】

七十二候とは、季節を表す方式の一つで、二十四節気をさらに三区分し、季節の風物を言葉で表現したものです。本書では季節の行事や家事のコツを、やさしいイラストで紹介しています。

『京都お茶の歳時記ーお茶と暦と素敵に暮らすー』

福井純子／著 メディアファクトリー【西】

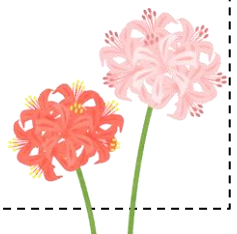
『二十四節気の心地よい料理と暮らし』榎本美沙／著 グラフィック社【東】

『春・秋七草の歳時記』釜江正巳／著 花伝社【東】

『時の名前』三枝克之ほか著 KADOKAWA【西】

『月光浴』石川賢治／著 小学館【西】

『おこめ』ジョニー・ハイマス／著 小学館【東】



～仕事と生活のバランス 働き方の本～

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』三宅香帆／著 集英社【東】

明治時代から現在までの日本人が、「労働」、「読書」、「教養」をどう捉えていたのか、どのように時代の中で変わっていったかを著者が分析します。

『「働けない」とことん考えてみた。』栗田隆子／著 平凡社【西】

『働くということー「能力主義」を超えてー』勅使川原真衣／著 集英社新書【東】

「能力主義」が定着している社会に生きる私たちは、強いストレスに晒されています。能力をはかられ、選ばれる立場に続けることが「働く」ことの全てなのでしょう。

『タイパの経済学』廣瀬涼／著 幻冬舎【西】

『ダンドリと予定の立て方ー限られた時間で必ず仕事が終わるー』

井出元子／著 かんき出版 【東】

～秋の夜長にじっくり読みたい長編小説～

『不毛地帯 1～4（山崎豊子全集 12～15）』山崎豊子／著 新潮社【東】【西】

戦後の混乱期から高度経済成長期の激動のビジネスの世界で生きる主人公の姿を描いた大長編。映像化もされました。

『京都寺町三条のホームズ 1～22』望月麻衣／著 双葉社【西】

『天璋院篤姫 上・下』宮尾登美子／著 講談社【東】

『日本文学全集 03』池澤夏樹／個人編集【西】

「竹取物語」や「伊勢物語」など、日本の古典に浸りませんか？

『グッド・オーメンズ 上・下』

ニール・ゲイマン、テリー・プラチット／著 角川書店【東】【西】

『百年の孤独』G. ガルシア＝マルケス 新潮社 単行本【東】文庫本【西】



さらに身近に、さらに便利に。

どこで借りてもどこでも返せるようになりました！

○中・南・加佐分館で借りた本

○東・西図書館で借りた本

→全ての分館・図書館で返却できるようになりました。

※返却処理に1週間かかることもありますので、ご了承ください

東図書館

☎62-0190（木曜休館）

10:00～18:00（金曜は19:00まで）

HP: <https://opac.libcloud.jp/maizuru-lib/>

西図書館

☎75-5406（月曜休館）

10:00～18:00（火曜は19:00まで）